

第 83 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時：2015 年 2 月 4 日（水）13 時 30 分～17 時 20 分
2. 場 所：日本機械学会 第 3,4 会議室
3. 出席者：飯田(東電)、西野（配管技術研究協会）、西田(MHPS 長崎)、高野(中電)、
大橋(IHI)、黒板(東芝)、妹尾(関電)、豊嶋(MHPS 呉)
代理者：位田[谷口(川崎重工)]、田村[堤田(MHPS 日立)]
オブザーバー：堀(MHPS 呉)
欠席者：小高(富士電機)
事務局：原

4. 配布資料

- 83-1 第 82 回構造分科会議事録（案）
- 83-2 構造分科会委員名簿
- 83-3 第 70 回火力専門委員会議事録(案)
- 83-4 第 72 回発電用設備規格委員会議事録（案）
- 83-5 電力安全小委員会関連資料
- 83-6-0 追補案の提出資料について
- 83-6-1 追補対比表（KHI, MHPS 長崎、関電、東電、中電、富士電機）
- 83-6-2 追補対比表 東芝
- 83-6-3-1, 2 追補対比表 MHPS 呉
- 83-7-1 審議履歴表
- 83-7-2 レビュー票 MHPS 長崎
- 83-7-3-1～5 レビュー票 東芝
- 83-7-4 レビュー票 MHPS 呉
- 83-7-5-1～3 レビュー票 IHI

5. 議題

- (1) 前回議事録確認 [資料 83-1]
前回議事録（案）について確認を行ない、議事録案は承認された。
- (2) 分科会委員・役員の承認 [資料 83-2]
退任、新任候補、再任候補はなし。
- (3) 報告事項
(3-1) 火力専門委員会報告 [資料 83-3]
第 70 回火力専門委員会の審議内容のうち、主要な項目が以下のとおり報告された。

- ・火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・各分科会委員・役員の承認
- ・第82回構造分科会報告
- ・高クロム鋼のクリープ強度見直しに係る審議(ご意見伺い)

(3-2) 発電用設備規格委員会報告

[資料 83-4]

第72回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下のとおり。

- ・火力専門委員会委員・役員の承認
- ・火力専門委員会報告

火技解釈において、許容応力の算出に用いる安全率の3.5への引下げに関する国の動向に関する質疑を報告。
- ・火力専門委員会関連の審議事項はなし

(3-3) 電力安全小委員会における関連情報

[資料 83-5]

H26.12.22 開催の電力安全小委員会における、JSME 発電用火力設備規格の技術基準取り入れに係る情報が報告された。

- ・火技解釈の安全率の変更は、委託事業において検討中。次々回の電安小委において検討結果を報告予定。
- ・上記検討結果を踏まえ、JSME 火力設備規格基本規定(2012年版)の取り入れを検討する。

(4) 審議事項

(4-1) 追補対比表

1) 対比表 KHI

[資料 83-6-1]

位田委員代理から説明があり審議を行った。

- ・UG-43(f)~43(f)(1)は2012年版にある(抜けていない)ので、「現状通り」に資料を修正する。

2) 対比表 MHPS 長崎

[資料 83-6-1]

西田委員から説明があり審議を行った。

- ・PW-41.2.2の修正「以下」は「以上」に戻す。
- ・PW-41.2.2の「この項の規制」は「この項の規定(又は規則)」に変更する。
- ・PW-41.2.3の改訂内容の欄を記載する。
- ・PW-44.7.1の追補(案)の欄の項目記号(d)~(f)を(a)~(c)に資料修正する。
- ・PW-44.7.1(b)の「 $\geq 50\%$ 」と(c)の「 $\geq 75\%$ 」の元となるサイズの記載が異なっているため、確認の上、誤記修正に含める。(PW-44.7.2も同様)
- ・UW-16(e)(1)の原文では、最初の文は内側溶接に限定されていないことから、確

認の上、修正が必要な場合は修正する。

3) 対比表 MHPS 関電 [資料 83-6-1]

妹尾委員から説明があり審議を行った。

- ・特記なし。

4) 対比表 MHPS 東電 [資料 83-6-1]

飯田委員から説明があり審議を行った。

- ・図 PW-16.2 の文字が切れているので、資料の修正を行う。
- ・図 PW-16.1 (a), (c) の「当板」を「裏当て金」として誤記修正とする。
- ・図 PW-16.1 (m) の「パッド」は、他に同様の記載が無いかを確認し、「補強板」等への修正を次回改訂において検討する。
- ・図 UW-13.2 (h)～(l) の 2012 年版の欄での記載「支持・非支持型と」に誤記修正の対象であることを示す下線を引く。

5) 対比表 中電 [資料 83-6-1]

高野委員から説明があり審議を行った。

- ・PW-53.9.2 の「1.58mm」→「3mm」への変更は前回改訂作業時に見落とされていたもので、意図的に残されたものではなく、国内の基準でも 3mm であるので、誤記修正とすることの説明があった。

6) 正誤表 MHPS 富士電機 [資料 83-6-1]

- ・規格使用者からの質問対応により明らかになった誤記である。
- ・正誤表の形で資料提出されているので、今後、対比表の形に仕上げる。

7) 対比表 MHPS 東芝 [資料 83-6-2]

黒板委員から説明があり審議を行った。

- ・改訂内容の欄に（精査中）と記載されている部分には、明らかな誤記にあたるものは無いため、対比表は（現状通り）とする。

8) 対比表 MHPS 呉 [資料 83-6-3-1,2]

堀オブザーバーから説明があり審議を行った。

- ・ASME2011a の改訂内容の反映は今回の追補の対象外であるので、JSME2012 年版の誤記に絞って資料の見直しを行う。

■ 2月 25 日の火力専門委員会への追補版提案を目標としているため、本日のコメントを反映した修正版の作成、修正版の各委員による確認などのスケジュールは、飯田主査から別途メールにて連絡する。

(4-2) レビュー票審議

1) レビュー票 MHPS 長崎

[資料 83-7-2]

西田委員からレビュー票について説明があり審議を行った。

- ・ UW-20.7(a) 3 行目：行ったが 2 つあるので、最初の「行った」をとる。
- ・ UW-20.7(b) design calculation 設計検討 → 設計計算
- ・ Table 129.3.1 表題 Approximate の訳を追加する おおよその
表題 表題についているかっこは、不要なためとる。
Material 物質 → 材料
- ・ 129.3.4.5 component 製品 → 構成品 (用語の統一)
- ・ 132.1.2 3%以上の指定されたクロムを含有する → 規定クロム含有量が 3%
以上の
- ・ 表 132 P 番号 1 の注(c)
注(c)は、表 132 P 番号 3 の注(b)と原文は同一である。注(b)の方が適した文章
となっているので、これを注(c)にも採用する。
- ・ APPENDIX H 発電設備規格委員会として、既に規格に関する質問を受け付ける
仕組みを持っているので、取り入れない。

2) レビュー票 東芝

[資料 83-7-3-1~5]

黒板委員からレビュー票について説明があり審議を行った。資料 83-7-3-3,4,5 に
ついては、改訂箇所なしのため資料のみ配布。

- ・ PG-67.2.1.2 waste heat boiler は、廃熱と排熱の 2 つの用語が使われるが、
「排熱」を採用することとする。
- ・ PG-73.2.1 free and full discharge 放出 → 全開で放出すること
- ・ PG-73.2.4 社内確認中。各委員からもコメントいただきたい。
- ・ PG-73.2.10 国内では弁リフトを制限することはないため、取り込み不要。

3) レビュー票 MHPS 呉

[資料 83-7-4]

堀オブザーバーからレビュー票について説明があり審議を行った。

- ・ UG-4(a) Part UIG は JSME 規格に取り入れていないため、反映しない。
- ・ UG-23(d) multiple 多様な → 組み合わせ
seismic plus live load 静荷重 → 運転荷重など
*12 の注記番号を再確認する。

4) レビュー票 IHI

[資料 83-7-5-1,2,3]

次回、審議を行う。

■レビュー票は、持ち帰って気付いた点などがあれば、各委員にメールにて連絡する。

6. 次回開催予定

日 時：2015 年 4 月 3 日（金）13 時 30 分～17 時 00 分

場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室

以上